



平成29年11月9日

各 位

会 社 名 株式会社 石川製作所
 代表者名 代表取締役社長 小長谷 育教
 (コード番号 6208 東証第一部)
 問合せ先 取締役 企画管理部門長 森近 慶一
 (TEL 076-277-1411)

**特別利益（負ののれん発生益）の計上及び平成30年3月期
 第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異並びに
 通期業績予想の修正に関するお知らせ**

平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）第2四半期において、特別利益（負ののれん発生益）を下記のとおり計上いたしますのでお知らせするとともに、平成29年5月10日に公表しました平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおり併せてお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別利益（負ののれん発生益）の計上について

平成29年8月9日に開示いたしました「関東航空計器株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載の通り、平成29年8月31日付で関東航空計器株式会社の株式の100%を取得し、同社を連結子会社といたしました。これに伴い、平成30年3月期第2四半期において、負ののれん発生益383百万円を特別利益として計上いたします。

2. 平成30年3月期第2四半期累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）の業績予想値と実績値との差異について

(1) 連結業績予想数値と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	2,600	△ 70	△ 80	△ 70	△ 10	97
実績値(B)	3,144	△ 140	△ 140	258	40	52
増減額(B - A)	544	△ 70	△ 60	328		
増減率(%)	20.9	—	—	—		
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	2,515	△ 122	△ 127	△ 136	△ 21	34

(2) 個別業績予想数値と実績値の差異

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	2,300	△ 95	△ 75	△ 11	76
実績値(B)	2,700	△ 125	△ 103	△ 16	17
増減額(B - A)	400	△ 30	△ 28		
増減率(%)	17.4	—	—		
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	2,325	△ 127	△ 131	△ 20	65

(注) 平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

3. 平成30年3月期通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の業績予想数値の修正

(1) 通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	8,400	100	70	60	9	41
今回修正予想(B)	13,000	330	290	600	94	5
増減額(B-A)	4,600	230	220	540		
増減率(%)	54.8	230.0	314.3	900.0		
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	9,759	152	134	93	14	59

(2) 通期個別業績予想数値の修正

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	7,800	40	50	7	84
今回修正予想(B)	9,000	40	50	7	84
増減額(B-A)	1,200	0	0		
増減率(%)	15.4	—	—		
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	9,269	76	54	8	58

(差異及び修正の理由)

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高の増加は紙工機械の保守業務及び受託生産が堅調に推移したこと並びに関東航空計器株式会社を連結したことによるものであり、営業利益及び経常利益につきましては、主に紙工機械のコスト増加により前回予想を下回ったものであり、親会社株主に帰属する四半期純利益は負ののれん発生益を計上したことから前回予想を大きく上回ったものであります。なお、個別業績における差異発生理由も連結とほぼ同様であります。

また、通期連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績及び受注状況並びに関東航空計器株式会社の業績見込みを踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見通しとなったため業績予想を修正するものであります。

なお、通期個別業績予想につきましては、主に紙工機械の増加により売上高が前回予想を上回る見通しとなったため業績予想を修正するものであります。経常利益、当期純利益は紙工機械の高機能化に伴うコスト高による影響を考慮し、前回予想を据え置いております。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上